

# 歯削る機器 7割使い回し

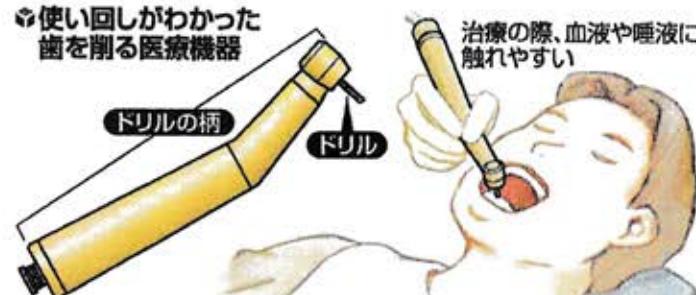
感染研調査  
滅菌せず 院内感染懸念

歯を削る医療機器を滅菌せず使い回している歯科医療機関が約7割に上る可能性のあることが、国立感染症研究所などの研究班の調査でわかった。患者がウイルスや細菌に感染する恐れがあり、研究班は患者ごとに清潔な機器と交換するよう呼びかけている。

調査対象は、歯を削るドリルを取り付けた柄の部分。歯には直接触れないが、治療の際には口に入れるため、唾液や血液が付着やすい。標準的な院内感染対策を示した日本歯科医学会の指針は、使用後は高温で滅菌した機器と交換するよう定めている。

調査は、特定の県の歯科医療機関3152施設に対する実施した。2014年1月までに891施設(28%)から回答を得た。

滅菌した機器に交換していないか聞いたところ、「患者者ごとに必ず交換」との回答は34%だった。一方、「交換していない」は17%、「時



々交換」は14%、「感染症にかかるている患者の場合は交換」は35%で、計66%で適切に交換しておらず、指針を逸脱していた。

別の県でも同じ調査を13年に4回を行い、使い回しは平均71%だった。

研究班の[REDACTED]・国立感染症研究所室長によると多くの歯科では、人手や費用がかかり、簡単な消毒

や洗浄をしただけで繰り返し使っているとみられる。

厚生労働省によると、歯科での院内感染は原因の特定が難しく、国内で明らかになった例はない。

感染症に詳しい浜松医療センター[REDACTED]は「簡単な消毒では、機器を介して患者に感染する恐れのあるウイルスもある。十分な院内感染対策を取ってほしい」と話している。

新聞も、スマホも。  
読売プレミアム  
ニュースや特典が満載  
yomiprep.jp  
予定です。

